

銀竜洞

検福集落にある洞窟・銀竜洞への入り口は、この道を進み、素朴な鳥居をくぐったすぐ先にあります。銀竜洞は、島に数多くある、石灰岩が酸性の水に溶けることによってできた洞窟のひとつです。入り口への坂道を下ってすぐ右側には、小川が突然消えてなくなるように流れこんでいる穴があります：これは、この島の小川だらけの地質構造を示す印象的な例です。洞窟は、地下の小川に沿って続く、高さと幅 2～5m の全長約 200m の一本道です。通路は地底の水溜りまで続いています。

神聖なスポット

洞窟内部の通路を 100m ほど進んだ左手にある鍾乳石の足場には、村の守り神であり、神道で崇拜される八幡という神に関係している「氏神」を祀る社があります。この場所は今も参拝されており、それが入口付近に鳥居がある理由です。

洞窟を探検する際の注意

洞窟へは自己責任でご入場ください。この洞窟は 1960 年代には人気の観光スポットでしたが、その後人気は下火になり、現在は冒険好きな人向けの場所となっています。ルートをたどるのは比較的簡単ですが、道は濡れて滑りやすいところが多くなっています。照明は無いため、洞窟を探検する方は自前のライトと予備をご用意ください。